



## 1 はじめに

本園は、昭和52年に幼児教育センターの実践園として開園した、さいたま市唯一の市立幼稚園である。

本園では、平成26年度から3年間にわたり、「幼児の健やかな成長のための保育」を園課題研修のテーマとし、研究に取り組んできた。大宮小学校と隣接した環境や小学校の担任を経験した教諭による保育など、本園の特色を活かした実践を行っている。

以下、その内容の一部を紹介する。

## 2 保育研究の実践

### (1) 身近な環境とのふれあい

大宮小学校の1・2年生との交流を年間を通して計画的に実施している。子どもたちは小学生との交流を通して、小学校へのあこがれの気持ちを膨らませている。また、今年度からは、近隣の保育園の1・2歳児との交流が始まり、お兄さん、お姉さんとして優しくかわわる姿が見られる。



<小学校との交流>

さらに、地域の高齢者の方々との交流、ALTとの英語遊び、中学生の未来くるワークなど、様々な人とのかわわりを通して、コミュニケーションの楽しさを味わっている。

また、野菜の栽培や飼育動物のお世話など、身近な生き物とのふれあいを通して、子どもたちの豊かな心を育てている。

### (2) 自分の思いを表現する場の工夫

お菓子の空き箱や牛乳パックなどの廃材コーナーを常設し、自由に製作遊びができるようにしたり、空き教室を活用したダイナミックな製作活動を行ったりして、子どもが自分の思いをのびのびと表現する楽しさを味わうことができるようにしている。子どもたちが遊びに使う物を作ったり、遊ぶ場を子どもたちが工夫して準備したりするなど、子どもの創造力が豊かになり、自分の思いを表現しながら遊びを楽しむ姿が見られるようになった。



<廃材を利用した製作遊び>

### (3) カンファレンスの実施

月に1回、大学の先生を招いて保育研究会を実施している。研究保育後、研究協議を行い、専門的な立場から助言をいただきながら保育の質の向上に取り組んでいる。

## 3 おわりに

幼児期は生きる力の素地を形成していく大切な時期である。今後も、子ども一人ひとりに寄り添い、幼児の健やかな成長を支援していきたい。

最後に、本園は平成30年3月末をもって閉園となる。長年にわたり、本園の活動に対し、御支援、御協力をいただきましたことに厚く感謝申し上げます。